

略歴

長島勝美(ながしまかつみ)

大学卒業後はドイツで一年間農業研修を経験し、環境保全型農業技術を学ぶ。平成7年ごろ家業の農家を継ぎ、平成18年度には環境保全型農業推進コンクール農林水産大臣賞を受賞した。

露地野菜、施設野菜を200a以上の農地で生産し、有名飲食店に卸したり、直売所(すかなごっそ)等で販売している。

環境保全型農業とは

農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性と調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業のこと。(農林水産省HPより)

テレビ等出演歴

ザ! 鉄腕! DASH! (日本テレビ)、料理の怪人(テレビ東京)、Here We Go! JAPAN (ANAメディア)、新聞各社など

アクセス



- 車
横浜横須賀道路「衣笠」IC
から約10分
- バス・電車
京急バス「川原田」バス停
から徒歩約5分

※畑の場所は一例です(複数の場所に点在しています)

ながしま農園(長沢)

長島勝美

自分が食べて本当に美味しいと思うものを

ながしま農園は横浜須賀野市長沢で鎌倉時代から続く農家です。かつては米の生産が主流で、三浦半島でもっとも米作りをしていた農家のひとつでしたが、減反政策を経て昭和40年ごろから野菜の生産へ移行することに。当時、野菜づくりに挑戦することになった祖父の「人が生きていくうえで必要なものは身の回りにある」というマインドは、「自分が食べるもの・おいしいと思うものをつくる」という野菜づくりのモットーに受け継がれています。また、暮らしのなかで様々なものが生まれ循環することが自然体で人にとって快適であるように、野菜がのびのびと育つために、環境が循環する力を利用してその土地と野菜に合った自然体の土壌づくり・野菜づくりに努めています。

生産者紹介動画は
こちら



YouTube

生産者SNSは
こちら



Facebook

主な生産品目(例)

年間生産品目は約120品目

※天候等により実際の生産品目は変更する場合があります。



Pick up! 生産者おすすめ野菜

スイスチャード (4月~6月)



ビーツ (3~4月)



ながしま農園ではスイスチャード、ビーツをはじめとする西洋野菜も手広く手掛けている。地中海気候に似た横須賀の環境に加え、原産地の土の特性に近い土づくりを行うことで、西洋野菜本来が持つ味・形や大きさ、品質を引き出すことができる。例えばスイスチャードは流通している国産のものに比べて大きく、肉厚で、本格的なイタリアンレストラン等で好評。

**買える場所
食べられる場所**

- ・JAよこすか葉山農産物直売所「すかなごっす」
- ・生活協同組合うらがCO-OP mamaの広場
- ・京急百貨店
- ・飲食店(横須賀アクアマール(横須賀・観音崎)など)

他

こだわり

思い 自分が食べて本当においしいと思った野菜をつくる

稲作から野菜作りへ転換した当初は、自家消費用の野菜がメインでした。「食卓をイメージして、自分が食べて本当においしいと思った野菜をつくる」がモットーの野菜作りは、徐々に家庭で消費できないほど量も品目も増えたため自宅前での直売を開始。最初は近所の方が買っていきましたが、そのおいしさが口コミで広がり、飲食店や百貨店などからの買い付け相談も増えました。

※現在は自宅直売所はなくなり、飲食店や百貨店、生協、すかなごっすなどがメインとなっています。

スタイル 中量多品目栽培

ながしま農園では年間約120品目の野菜を生産しています。飲食店等との販路が増えてから「●●という野菜を作ってほしい」という要望が増えはじめたため、要望に合わせて新しい野菜の生産を行うこともあれば、こちらから飲食店へ提案することもあります。このような飲食店との活発なコミュニケーションを通して、ながしま農園の生産品目はどんどん拡大しています。



中量多品目栽培のハウス。狭い畑でも有効活用できるよう、バズルのように野菜が植えられている。



農園内で毎年開催している「タケノコ掘り」。消費者や契約先レストラン関係者などを招き、農業を通じた関係づくりに努めている。

独自 「環境保全型農業」の実践 -自然の循環から生まれた野菜-

農業や化学肥料に頼らず微生物や太陽光の力、地熱、自然の自浄作用を利用した、できる限り環境に負担をかけない農業(=持続可能な農業)を実践しています。



- 【環境保全型農業の取り組み(一例)】
- ・農業、防虫剤の代わりに天敵昆虫を使う。
 - ・牛糞、米ぬか、その土地に生きる微生物を活用した土づくり
 - ・あえて病気に感染させる「おとり」の野菜を事前に植えることで土壌伝染病菌を減らし、農業や土地改良剤の使用を減らす。
 - ・石油燃料を使わず、太陽光や風の力で温度をコントロールするハウス栽培。

冷暖房機器のないハウス。蓄熱性の高い素材、通気性の高い構造に工夫している。散水はタンクにためた雨水を勾配を利用して自由落下させる仕組み。

メディアの皆様へ

お問合せ、または取材をご希望の場合は下記担当までご連絡ください。
野菜に関する情報提供や生産者との調整など、お手伝いいたします。

事務担当 横須賀市経済部農水産業振興課

TEL : 046-822-9395 | MAIL : aff-chisan@city.yokosuka.kanagawa.jp